

「生駒市行政改革大綱 前期行動計画」の取組状況(令和元年度・令和2年度)に対する委員評価
分科会①

I 健全な財政基盤の確立

取組 No	取組内容	年度	総合評価					コメント
			A	B	C	D	E	
1	事務事業の見直し	R元年度	0	0	3	1	0	・意見書の内容に比べて反映された事業が少なすぎる。
		R2年度	0	0	1	3	0	・コロナ禍の中での評価として考えるとき、その視点で見る必要もあるのではないか。

「生駒市行政改革大綱 前期行動計画」の取組状況(令和元年度・令和2年度)に対する委員評価
分科会①

Ⅲ ファシリティマネジメントの推進

取組 No	取組内容	年度	総合評価					コメント
			A	B	C	D	E	
9	公共施設マネジメント推進計画に基づく公共施設の最適化	R元年度	0	0	1	2	1	・施設のマネジメントは喫緊の課題である。老朽化が著しい施設が多いにも関わらずR元年度は具体策ができていない。
		R2年度	0	0	3	1	0	・課題に書かれている内容は重大であり、至急取り組んでいく必要がある。 ・公共施設マネジメント推進計画及び個別施設計画を策定したことは評価するが、個別施設計画で「廃止」の施設をみると、廃止の方法の検討、廃止時期の検討、譲渡方法の検討など更に3~4年の検討期間を要している。 ・いまだに、手法の検討、地元協議に入れていないのは、遅れ感を持たざるを得ない。
10	公園街路樹維持管理業務の見直し	R元年度	0	1	3	0	0	・剪定する高木の見直しが適切であったという理由が必要である。 ・限られた予算で努力されていると思うが、こういう事業こそシビックプライドの醸成に繋がると思う。事業を縮小するのではなく拡大に向けた努力が必要と思う。
		R2年度	0	1	3	0	0	

「生駒市行政改革大綱 前期行動計画」の取組状況(令和元年度・令和2年度)に対する委員評価
分科会①

IV 市民、事業者等との協働によるまちづくりの推進

取組No	取組内容	年度	総合評価					コメント
			A	B	C	D	E	
11	市政情報の提供・発信	R元年度	0	3	1	0	0	・根拠に基づく政策(EBPM)による改善の方向性が評価できる。
		R2年度	0	3	1	0	0	・他の媒体を考慮した分析ができています。 ・手軽なデジタル対応に留まらず、アナログ手法の充実も。高齢者を念頭に入れた対応が望まれる。
12	多様なツールで情報発信	R元年度	0	3	1	0	0	・情報発信源がたくさんあり、どれをフォローすればいいか迷うのではないか。アカウントの情報をまとめたものを広報などに掲載すると興味のあるアカウントへフォローしやすくなり、フォロワー数の増加が見込めるのではないかと思う。
		R2年度	0	3	1	0	0	・Twitterの活用の多様化など、今後の取り組みの展開が期待できる。
13	市民自治協議会の設立に向けた支援とともに、市民自治協議会や準備会の活動支援	R元年度	0	0	1	3	0	・市民自治協議会の設立の困難さを考慮すれば、2団体の設立は評価できる。
		R2年度	0	0	1	3	0	・「課題に向けた取組」は適切であると思われる。 ・担当課のみの取組では、多岐に亘る課題を抱える市民自治協議会を発展させるのは容易では無い。
14	コーディネート機能の充実による活躍の場の提供	R元年度	0	4	0	0	0	・「おたすけ張」などの工夫がみられる。 ・コロナ後のフォローだけでなく、「いま」何ができるか、何をすべきか、の気づきやフォローがあると今後の活動への基盤ができて事業者はうれしいのではないかと思う。
		R2年度	0	0	2	1	1	・コロナ禍の中では止むを得ない部分もあったのか。

「生駒市行政改革大綱 前期行動計画」の取組状況(令和元年度・令和2年度)に対する委員評価
分科会①

IV 市民、事業者等との協働によるまちづくりの推進

取組 No	取組内容	年度	総合評価					コメント
			A	B	C	D	E	
15	総合型地域スポーツクラブ の推進・支援	R元年度	0	3	1	0	0	
		R2年度	0	0	4	0	0	
16	民間事業者等との協創の 活性化に向けた対話窓口 の設置	R元年度	0	0	3	1	0	・対話窓口が設置されたことは評価するが、目的は相談・提案である。窓口設置や運用ルールは内部 でできることなので低い評価にした。
		R2年度	0	3	1	0	0	・「公民連携」といっても様々な考え方があるため、複数の研修を通じて現代の行政としての矜持(価値観)を共通感覚として育成してほしい。 ・実績が目標を上回っており評価する。公民連携は大事であり、担当課が積極的に発出することを期待する。 ・指標の達成により、どう実績が上がったのかという点では 不十分ではないか。
17	市民がまちづくりに参画で きる機会提供の充実と公 益活動団体と地域との連 携	R元年度	0	0	4	0	0	・今後は実際の成果が期待される。
		R2年度	0	0	1	3	0	・コロナにより思う通りの効果を達成できなかったのは残念。頑張ってもらいたい。 ・コロナ禍の中でワークショップが開催できないとしても、これまでの積み重ねが職員の中で十分に浸透 していれば連携も進んでいるはずだが。

「生駒市行政改革大綱 前期行動計画」の取組状況(令和元年度・令和2年度)に対する委員評価
分科会①

IV 市民、事業者等との協働によるまちづくりの推進

取組No	取組内容	年度	総合評価					コメント
			A	B	C	D	E	
18	本と通したコミュニティづくり、市民との協働事業の実施	R元年度	1	3	0	0	0	・今後の図書館とボランティアの協働の展開が期待される。
		R2年度	1	3	0	0	0	・図書館からみれば高い成果があったと実感されているが、外形的には厳しめの評価になる。図書館=まちづくり拠点にするという課題意識は実にすばらしい。 ・取組がもっと広範囲に進められていてもよいのではないか。
19	地域特性に応じたまちづくり(ミライ会議)	R元年度	0	3	1	0	0	・コミュニティ政策として重要な取り組み成果が期待できる。 ・萩の台ミライ会議で、住民に気持ちの変化があったとあるが、1回限りで終わらないようにこの変化をフォローしていくような継続的な取組みを期待する。
		R2年度	0	0	2	2	0	・新しいまちづくりが一部地域にとどまり、十分に進められていない。 ・継続してまちづくりの意識を持ち続けることが大切だと思うので、この状況下で△100名でも良い傾向のように感じる。
20	都市ブランド形成	R元年度	0	2	2	0	0	・いこまサンフェスタに関しては開催するのかどうか、アナウンスはすべきだったと思う。ただ、自治体主催でこれだけ市民に認知され、期待されている事業は素晴らしいことだと思うので今後も継続した開催を期待する。
		R2年度	0	1	2	1	0	・「課題に向けた取組」に関して、IKOMA SUN FESTAのコンセプト等を適宜見直す方針は評価できる。様々な広報媒体でも同様に進めてほしい。 ・指標の達成はできたとしても、都市ブランド形成という課題から見れば、自己満足にとらわれない分析をして欲しい。

「生駒市行政改革大綱 前期行動計画」の取組状況(令和元年度・令和2年度)に対する委員評価
分科会①

財政規律を確保するための財政指標の目標値設定

取組 No	取組内容	年度	総合評価					コメント
			A	B	C	D	E	
28	財政指標の目標値の設定・管理	R元年度	0	3	1	0	0	・経常収支比率は財政健全化をみる指標だが、地方交付税の増減により左右される。そういう意味では経常収支比率に頼り切れないと思う。R元年度は地方交付税の増額により目標値が達成されたところがある。実質収支額がこれだけあるのは何故か。事業に回すべきと考える。
		R2年度	0	3	1	0	0	・財政のコントロールを維持する一方で、今後の生駒市の発展にとって必要な施策への適切な財政支出を絶えず検討して行ってほしい。 ・経常収支比率は財政健全化をみる指標だが、地方交付税の増減により左右される。そういう意味では経常収支比率に頼り切れないと思う。R元年度は地方交付税の増額により目標値が達成されたところがある。実質収支額がこれだけあるのは何故か。事業に回すべきと考える。 ・コロナ禍が過ぎたあと、指標を維持する取り組みがどうなるのか、変化は無いと言えるのか。